

## 地層処分研究開発検討委員会における審議の重点について

### 1. 委員会設置の背景

(独)原子力研究開発機構(以下、原子力機構)の地層処分研究開発は、原子力委員会による政策大綱や、原子力安全委員会のもとでの安全研究計画の趣旨を踏まえ、中期事業計画にそって、わが国の地層処分計画の円滑な推進に向け処分事業や安全規制策定に資する技術基盤の提供を目的としており、経済産業省資源エネルギー庁の統括の下に組織された「地層処分基盤研究開発調整会議」において議論される国の基盤研究開発<sup>1</sup>を担うものです。

地層処分研究開発調整会議においては、現在 HLW のみならず TRU 廃棄物を含めた、わが国の今後 5 ヶ年の地層処分の研究開発全体を見渡して研究開発の検討が行われつつあり、平成 20 年代前半の精密調査地区の選定に向けて、事業や規制のニーズを踏まえた研究計画の策定が進められています。

標記委員会においては、上述したような背景の下、原子力機構における地層処分研究開発の進め方について、特に“地層処分の工学技術”および“性能評価”に関連する課題への取り組みを重点に審議頂くものとします。具体的には研究開発成果の意義や将来の方向性とそのアプローチなどについて、特に知識基盤(ベース)へ反映・集約のためどのような研究開発を展開すべきか、に関し幅広い視点からご意見をいただき、今後の原子力機構の研究開発に資することとします。

### 2. 本検討委員会における議論の範囲

平成 18 年度は、H17 年取りまとめ(核燃料サイクル開発機構, 2005)や TRU-2 レポート(電気事業連合会, 核燃料サイクル開発機構, 2005)の成果を概観するとともに、平成 20 年代前半の精密調査地区の選定に向けて、原子力機構として取り組むべき課題選択と今後の進め方の妥当性について議論します。

- 1) HLW 処分; 原子力機構自らが推進する研究課題を重点に、H17 年取りまとめの成果とそれ以降の研究開発の成果、および次期 5 ヶ年の研究計画における研究テーマの選択と、その進め方、内容について議論頂く。また、得られた成果の知識ベースへの反映方策についても議論を頂く。
- 2) TRU 廃棄物処分; TRU-2 レポートの成果および次期 5 ヶ年の研究計画、特に TRU 廃棄物地層処分の技術的信頼性向上や、HLW との併置処分に係る研究開発について議論頂く。

<sup>1</sup> 地層処分に関する国の基盤研究開発とは、日本原子力研究開発機構(地層処分研究開発部門)の研究開発と資源エネルギー庁の調査等の事業を包括して指すもので、実施主体の技術開発や規制機関の規制関連研究とは区別される。

### 3. 委員会でのプレゼンテーション、説明について

- 1) 研究開発をとりまく動向 (HLW/TRU 廃棄物)
- 2) HLW 処分における最近の成果と次期 5 年の取り組み
  - ・ 地層処分の工学技術、性能評価分野を中心とした H17 年度までの成果や今後の課題
  - ・ 地層処分の工学技術に関する研究開発の今後の展開、URL との連携、国内外研究機関との連携、知識ベースへの反映
  - ・ 性能評価研究の今後の展開、URL との連携、国内外研究機関の連携知識ベースへの反映

上記いずれも、研究開発の位置づけ・方向性、具体的内容や進め方、プライオリティ、知識ベース構築の具体的アプローチについて、技術基盤の強化という視点でのご意見を頂きます。また、成果公開のあり方等についても御意見を頂ければと考えております。なお、研究開発の位置づけ・方向性、具体的内容や進め方、プライオリティについては、地層処分基盤研究調整会議において並行して検討が行われているところであり、この委員会で頂いたご意見も勘案して機構としての計画を確定してまいります。

- 3) TRU 廃棄物処分の研究開発の成果と次期 5 年の取り組み
  - ・ TRU 廃棄物の処分研究の置かれた状況
  - ・ TRU-2 レポートの成果の概要と課題ならびに次期 5 年の計画
  - ・ 安全評価の現状、今後の取り組み

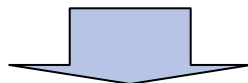
TRU 廃棄物処分に関しては、HLW とフェーズが異なり、事業の枠組みや中期計画上の目標が必ずしも明確となっていない状況で今後の研究開発を検討することになりますが、HLW との併置処分、余裕深度処分や研究所廃棄物処分との技術的整合性、TRU 廃棄物処分特有の課題に対する研究開発アプローチ等の視点から議論、ご意見を頂きたいと考えています。

以上

# 地層処分研究開発検討委員会

- 当委員会における議論の重点

- HLW及びTRU廃棄物処分の基盤研究開発の進め方に関し
- 地層処分の工学技術と性能評価に関連する課題への取り組みを重点に平成17年度とりまとめ、ならびにそれ以降の成果と今後の計画について
- 内外のニーズを踏まえ期待される成果と研究開発の方向性  
中期計画に基づくアプローチの視点と
- 個々の研究の質的向上に加え、知識基盤(ベース)に反映・集約できる成果の  
観点から議論いただく。



18年度実施計画、中期計画に議論の成果をフィードバック

# 各課題の説明、報告の内容構成

## 研究分野、課題の説明

「地層処分基盤研究に求められるニーズ」

「H17取りまとめとそれ以降の成果」

## 研究開発項目の内容

「成果に向けたアプローチ」 当面5ヵ年

知識ベースへの反映策、 成果の見通し